

令和 5 年度の主な事業について

1. 若者発！つながるまちなかづくり事業

(リーディングプロジェクト① 若者が活躍するまちなかづくりプロジェクト)

(1) 事業目的

若者がまちなかに関わり、主体的にまちづくりに取り組む仕組みづくりや環境づくりを進めることで、新たなまちづくりの担い手の発掘・育成やまちなかの賑わい創出につなげる。

(2) 事業概要

①若者によるまちづくり活動の促進

若者がまちなかでまちづくり活動の企画・実践を行っていく仕組みをつくる。

令和 4 年度 の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関心のある若者で組織する「大牟田わかもの会議」を立ち上げ、全 6 回のワークショップを開催。 ・ 6 回目のワークショップ（R 5 年 2 月）では、4 チームが、5 年度以降まちなかで取り組む企画を発表。 ・ 4 チームの中から、“大牟田駅っ子 Christmas P a r t y” と題した音楽イベントを実施。
令和 5 年度 の事業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄れる、集える活動拠点を確保する。 ・「大牟田わかもの会議」のホームページを作成する。 ・活動を知ってもらうためのオープンミーティング（R 5 年 6 月）を開催。新たな若者の募集を行う。 ・月 1 回の全体会議を開催。令和 4 年度にまとめた企画の実践。

②若者のまちなか居住の促進

若者に積極的にまちづくりに携わってもらうための仕掛けづくりとして、「自分たちが住む場所を自分たちで良くしていく」という意欲を喚起するとともに、まちなかの居住人口の増加を図るため、若者のまちなか居住を促進する。

具体的には、若者向けの共同住宅（シェアハウス等）に興味のある不動産事業者や物件所有者の発掘、シェアハウス等の整備や入居の促進に向けた優遇制度の検討などを行っていく。

2. まちなかストック活用事業

(リーディングプロジェクト② まちなかストックを活用した賑わいづくりプロジェクト)

(1) 事業目的

空き店舗、空きビル、空家、空き地等のまちなかの既存ストック（まちなかストック）を有効に活用し、まちなかの賑わい創出につなげる。

(2) 事業概要

①まちなかストックの活用促進

まちなかストックに関する窓口機能やマッチング機能の構築、空き店舗等の譲渡・売却を希望する物件所有者から新たなオーナーへの所有移転等によるまちなかストックの流通活性化等により、まちなかストックの活用を促進する。

令和4年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・まちなかストックに関する窓口機能やマッチング機能の構築に向けて、関係者・関係団体等と仕組みの研究や課題の検討を行った。・まちなかストックの流通活性化に向けて、不動産オーナー向けの勉強会（R4年11月）を開催。
令和5年度の事業予定	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度の取組みを踏まえ、関係団体等と連携協力し、まちなかストックに関する相談窓口を設置。・不動産オーナーや不動産活用希望者向けの勉強会、空き店舗見学会を開催する。

②まちなかストックを活用した魅力的な場づくり

まちなかストックを活用し、人を惹きつけ、呼び込む魅力・磁力を持った場を作っていく。

令和4年度の実施状況	まちなかストックを活用した魅力的な場づくりに向けて、地域住民等が求める機能（買い物、娯楽など）や業種（飲食、小売など）等を把握するため、アンケート調査（R4年10～11月）を実施。
令和5年度の事業予定	令和4年度に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、まちなかストックを活用した魅力的なテナント誘致・拠点づくり等に取り組む。

3. イノベーション創出促進事業

(リーディングプロジェクト③ イノベーション創出プロジェクト)

(1) 事業目的

若者世代をはじめ、分野の垣根を超えた多くの人・企業が交流できる拠点を整備し、ビジネスマッチング事業、交流イベント、IT人材育成などにより、地域イノベーションの創出を促進していく。

(2) 事業概要

レンタルオフィスやコワーキングスペース、イベントスペース等を備えるイノベーション創出拠点を中心としたIT等の情報関連企業の誘致および人・企業の活発な交流等を促進する。

令和4年度 の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・R4年10月にオープンしたイノベーション創出拠点 aurea (アウレア) への整備・運営補助を実施。・IT関連企業等の誘致を実施。・R5年2月に、産学官および金融機関で構成するイノベーション推進協議会を設立。・aurea 内に産学連携サテライトオフィスとして、有明工業高等専門学校との共同研究の窓口等として産学連携コーディネーターを配置。
令和5年度 の事業予定	<ul style="list-style-type: none">・イノベーション創出拠点 aurea (アウレア) への運営補助を実施する。・引き続き、IT関連企業等の誘致を実施する。・イノベーション推進協議会において、新たなビジネスの創出のための交流イベントや、デジタル人材育成事業等を実施する。・引き続き、産学連携コーディネーターを配置する。・eスポーツ等デジタル技術を活用したイベントの実施。

4. 大牟田駅を起点とした賑わい創出事業

(リーディングプロジェクト④ 駅周辺魅力向上プロジェクト)

(1) 事業目的

大牟田駅は、西鉄観光列車の発着所となることから、乗降客へのおもてなし対応や西口広場の賑わい創出等の取組みにより来訪者の増加や地域の活性化につなげることを目的とする。

(2) 事業概要

大牟田駅西口の賑わい創出に向けたイベント実施、観光列車利用者へのクーポン券発行。

路面電車204号を活用した飲食・物販等の店舗運営。

令和4年度 の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・西鉄観光列車利用者に対し、市内観光施設への誘客や物産品等の消費喚起を図るため、クーポン券（購入券1000円分＋石炭産業科学館・大牟田市動物園利用券）を配布。 クーポン券使用額1,106,000円（500円相当クーポン×2,212枚） 利用券使用者287人（石炭産業科学館95人、大牟田市動物園192人）・大牟田駅西口に設置されている路面電車204号を活用し、車内で飲食・物販等を行うとともに、マルシェ等のイベントも開催。
令和5年度 の事業予定	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、観光列車利用者に対し、物産品等の消費喚起を図るため、クーポン（購入券200円分）を配布する。・引き続き、路面電車204号を活用し、車内で飲食・物販等を行うとともに、マルシェ等のイベントも行う。